

(平成 18 年度第 4 回WG 資料から)

## 改良効果検証のためのモニタリングについて

### 1 モニタリングの目的

河川工作物の改良前後におけるサケ科魚類の遡上状況、河床変化等を把握し、河川工作物の改良効果を総合的に検証することを目的とする。

### 2 調査項目

(1) 遡上率把握のための調査

遡上匹数

(2) 産卵状況把握のための調査

産卵床数

(3) 河床変化把握のための調査

ア 縦横断測量

縦横断の変化把握

イ 礫構成

礫構成の変化把握 (横断線上)

ウ 流速

流速の変化把握 (改良工作物の上下流及び改良工作物内 (通水部))

エ 流量

流量 (河口部) の変動量把握

オ 定点写真撮影

周辺状況の変化把握

### 3 河川工作物改良の成否判断

河川工作物の改良の成否は、改良前後における対象サケ科魚類の遡上率に基づき専門家の意見を踏まえて判断 (産卵床数も参考) する。